

(様式第3号)

企業・団体名（ 株式会社山翠舎 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)【R5.11.30変更】

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の場 合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			手帳型「経営計画書」(以下、経営計画書)に差別禁止の方針を明記し、全社員に配布している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・就業規則に【ハラスメントの防止・相談】について明記している。 ・経営計画書にハラスメントの禁止の方針を明記し、朝礼、方針会議で周知を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・経営計画書に労働関係の方針を明記し、勤怠の報告により勤務表で実績の把握を行っている。36協定や特別条項の内容を周知し、管理部門がリーダーを含め労働時間削減を行っている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			現在、外国人労働者の雇用はございません。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・経営計画書、就業規則に【安全衛生】について明記しており、毎年安全衛生計画書を作成している。長野本社と東京支社にて毎日の清掃時に環境整備を行い。月に2回点検を実施している。				3				8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・経営計画書に社員の健康に関する方針を明記し、朝礼・方針会議の中で周知徹底している。 ・部門ごとにリーダー制を設け、リーダーと部下とのコミュニケーションを図る取り組みをしている。				3													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・経営計画書に人材活用の方針を明記し、朝礼、方針会議の中で周知して共有を図っている。 ・建設業であるが、女性の積極的な採用を行い積極的に管理職に配置している。また、在宅ワークの許可等個々のライフステージに応じた労働環境を柔軟に ・経営計画書に人材育成の方針を明記し、朝礼・方針会議で周知徹底している。 ・職務、役職に応じた研修(新入社員研修・中堅社員研修他)を実施している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)							4	5.5			8	9								
9	環境	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・経営計画書に人事に関する方針を明記し、方針会議で周知徹底している。 ・労働条件通知書で個々に公正な提示を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・就業規則に【健康診断】【指定医検診】について明記している。 ・健康企業宣言を行っている。				3				8									
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・事務所、工場、現場から排出される廃棄物は適正に分別し、廃棄物業者に処分を依頼し、廃棄物に関するマニフェストを適正に管理している。											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・自社のエネルギー使用量の把握・管理をしており、本社、大町倉庫においては、Co2フリーの電力を使用している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	古木に関するCo2算定を行い、排出量を算定し社外発信を行う。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・使用する原材料は、基本的にフォースター製品を使用している。 【有機化学物質】を把握し、適切な使用に取り組む。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)								6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)														12.5	14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									7.2						13				
21	公正な 事業 慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)														12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)																		16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)																		16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)										8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)																		16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)		【予定】																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】			3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の場 合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・経営計画書に製品安全に関する方針を明記し、朝礼や方針会議で周知徹底している。 ・エコマーク、FSC認証を取得している。			3.9							12.4							
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・経営計画書に品質方針を明記し、朝礼、方針会議の中で周知徹底している。 ・古木の魅力を活かしたビジネスモデルを構築している。							9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・古民家解体時にでる廃材(古木)を再利用することで環境と調和のとれたものづくりをしている。 ・古木を使った地球環境に貢献するビジネスモデルを推進している。(kobokuエコシステム)						6				12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社会問題化する空き家問題をテーマとしたビジネスモデルを推進している。(古民家移築再生など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会地域貢献・貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・自社事業の地域への影響(プラス、マイナス)を把握し対応、改善に努めている。 ・地域活動や長野市スマートシティコミッションなどに参加し、当社の取り組みの発信を共有している。					4			9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・自社敷地内の緑化推進、特に花の咲く植物の積極的な植栽によりニホンミツバチの生息域維持に貢献するなど、地域の生態系の維持や環境整備活動に取り組んでいる。 ・地域の職場体験の受け入れをしている。					4					11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・古民家解体時にでる廃材(古木)を積極的に再利用している。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			・経営計画書に理念や方針を明記し、朝礼、方針会議の中で読み合わせをして周知徹底している。								8	9							17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・経営計画書に理念や方針を明記し、朝礼、方針会議の中で読み合わせをして周知徹底している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・各部門ごとにリーダー制を設け、各リーダーに対して社会・環境に及ぼす注意点を教育し、より貢献できるように適宜対応できる体制を整えている。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・適宜ステークホルダーと対話をし、自社活動の影響を把握し適切に対応している。 ・山翠舎で空間づくりをしたオーナー様が集うサロンを運営し、会員間の交流と様々な情報共有等を図ることを目的としている(山翠舎は任意)																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・経営計画書に理念や方針を明記し、朝礼、方針会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 例:(苦情(クレーム)に対する方針等)																	16
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・古木を使った地球環境に貢献するビジネスモデルを推進している。(kobokuエコシステム)本業を通じてCSRを推進していくことをコンセプトとしている。																	16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		【予定】	事業継続計画の策定、定期的な訓練を実施する。								9		11		13 13.1				16	

43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		【予定】	・専門機関に相談しながら検討を進めている。 ・後継者候補がいる。											8	9											17
----	--------------------------------	---------------	--	------	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
F S C認証を取得する		古木を活用した自社製品及び自社製品を使った空間でF S C認証を取得した。																	
古民家の解体で通常廃棄処分されてしまう原材料（＝古木）を資源として再活用する		・古木を活用することによって古民家の解体から発生する廃棄物の排出を最小化する。 ・古木を資源として活用することによって低炭素化を促進する。 ・古木を活用し建築文化を継承した空間を全国に提供することで木の文化を継承に貢献する。																	
・資源＝古木をワンストップで扱うことで社会価値を最適化する ・古木を取り扱うパートナーを全国的に広げる		・古木を活用し建築文化を継承した空間を全国に提供することで木の文化を継承に貢献する。 ・加盟店（古木ネットワーク）を広げる活動をしている。																	
古民家所有者とコミュニティの課題を解決する		・古木を活用し建築文化を継承した空間を全国に提供することで木の文化を継承に貢献する。 ・加盟店（古木ネットワーク）を広げる活動をしている。																	

【記載留意事項】 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。） ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
--

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1...組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2...労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定